

国立研究開発法人国立環境研究所
契約監視委員会（第22回）議事概要

1. 日時

令和3年12月20日（月） 13:30～15:30

2. 場所

ウェブ会議にて実施

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

小田部 典子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）

野村 豊弘（日本エネルギー法研究所 理事長）

古米 弘明（東京大学大学院工学系研究科 教授）

矢野 奈保子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

4. 開会

議事に先立ち、是澤理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

(1) 前回議事概要の確認について

(2) 令和3年度上半期の随意契約の状況について（抽出審査2件）

(3) 令和3年度上半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて（抽出審査1件）

(4) 令和3年度上半期の特例随意契約のフォローアップについて（抽出審査1件）

(5) 令和4年度における特例随意契約の実施について

(6) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の確認について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 令和3年度上半期の随意契約の状況について

令和3年4月1日から令和3年9月30日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件（64件）について審議が行われた。なお事前に抽出された2件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査1（令和3年度航空機による温室効果ガスの観測業務）

- 予定価格と契約金額が同じで落札率100%であるが、国立環境研究所は請負者の貢献を前提として予定価格を作成しているということか。また、今後もそれを続けていくのか。（→随意契約の場合、事業予定費を勘案しつつ契約予定者からの参考価格を審査した上で予定価格としている。業務履行に係る要件を満たす者が複数となれば入札価格の競争が生じることとなる。）

○抽出審査2（子どもの健康と環境に関する全国調査学童期検査（小学2年生）に係る生体試料回収、輸送、分注および検査等業務）

➤ 特段の指摘事項なし。

（3）令和3年度上半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて

令和3年4月1日から令和3年9月30日までに契約締結した案件のうち、前年度（複数年契約を行っている案件については前回契約）に引き続き一者応札・応募となった案件（75件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査3（廃棄物・廃水処理施設運転管理業務）

➤ 入札説明書を受領したものの応札を辞退した業者に対してアンケートを実施しているとのことだが、本件について仕様を見直さない限り、このまま一者応札が続くことが予想される。アンケート結果をしっかりと精査の上、可能な限り仕様書に反映していくべき。（→さらに調査し、改善できる点などあれば対応したい。）

（4）令和3年度上半期特例随意契約のフォローアップについて

令和3年4月1日から令和3年9月30日までに契約締結した案件のうち、特例随意契約案件（4件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査4（令和3年度リサイクルの高度化に向けたアルミニウムフローの推計及びデータ整備等業務）

➤ 特段の指摘事項なし。

（5）令和4年度における特例随意契約の実施について

事務局より資料に基づき説明が行われ、令和4年度の特例随意契約の実施について承認された。

（6）その他

- ・ 次回の委員会は概ね半年後に開催予定。
- ・ 結びとして事務局より、議事概要、一者応札・応募等事案フォローアップ票及び特例随意契約事案フォローアップ票について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページにおいて公表することを報告した。

以上